



今井小だより

横浜市立今井小学校
令和4年6月30日
学校だより 7月号

学校教育目標 : かがやいている子 「自分大好き!今井大好き!」

アクセルとブレーキ

学校長 松永 史郎

世界中が未曾有のパンデミック、いわゆるコロナ禍に見舞われて早2年数か月が経ちます。このように長期にわたって、私たちの生命・健康や日常生活が脅かされる日々が続くことを、誰も想像していなかったのではないのでしょうか。日本の学校も、令和2年、卒業式や修了式が間近に迫った年度末に、突然の臨時休校が決まったあの頃からずっと、コロナ禍への対応に翻弄されています。学校は、大勢の子どもたちが集う場所であることから、特に感染拡大防止には細心の注意が必要であるため、休校が終わった後も、分散登校や各種学校行事の中止など、子どもたちの通常の教育活動は大きく制限されてきました。また、ソーシャル・ディスタンス確保やマスク着用も、子どもたちの心身の成長への影響の懸念が大きくなっています。

そんな中で迎えた令和4年度の前期前半は、感染拡大第6波が少しずつ落ち着いてきた時期と重なりました。では、そのような状況下で、今年度の教育活動や学校行事をどうしていくかということについては、正に試行錯誤で、情報収集→検討→計画→実施というプロセスを続けてきたところです。

6年生の修学旅行、4・5年生の宿泊体験学習、1～3年生の遠足・校外学習につきましては、本当に実施できるのかという心配を当日までもち続けた中ではありましたが、すべて無事に実施できたことを本当にうれしく思っています。どの学年も、校内とは一味ちがった子どもたちの笑顔や輝く姿を見るにつけ、改めてそのような学校行事の大切さを実感しています。今後も、個別支援学級の区合同宿泊学習（日帰りで実施）、運動会など大きな学校行事の実施に向けて、感染防止に十分留意しながら、子どもたちの満足や達成感につながる内容になるように計画や準備を進めてまいりたいと思います。

また、来週から3年ぶりに始まる水泳学習など、日々の教育活動についても、状況を確認しながら「できることをできる形で」実施していく予定です。（前提として、前段で述べたように、学校は、大勢の子どもたちが集う場所であり、また家に帰ればさらに多くのご家族などと接するということを踏まえ、世の中の動きよりは少し慎重にものごとを進めなければならないと考えています。）

コロナ禍が終息されるまでは、そのように感染拡大状況や社会情勢などを総合的に鑑みながら、教育活動の「アクセルとブレーキ」を併用する日々がまだまだ続くことと思われます。保護者の皆様には、引き続きさまざまなおことごとでご理解とご協力をいただく場面があることが予想されます。どうぞよろしくお願いいたします。

ニュース等で報じられているように、気温や湿度の上昇に伴い、熱中症罹患の危険が高まっています。先日、メール配信でもお知らせしましたが、特に、子どもたちの登校時は、朝、家を出発する時の天候やお子さんの状態により、積極的にマスクを外すように（おしゃべりを控えることと共に）声かけをお願いいたします。学校でも健康観察を随時行いながら、水分補給とマスク着脱などの声かけを行っていきます。